

商船大学教育資機材事業



レーダーシミュレーター / ARPAシミュレーター

借款概要

承諾額/実行額	4,128百万円/3,754百万円
借款契約調印	1985年12月
借款契約条件	金利3.5%、返済30年（据置10年）
貸付完了	1993年6月

事業概要

1984年に発効したSTCW条約（船員の訓練および資格証明ならびに当直の基準に関する国際条約）に規定された国際レベルの教育水準を達成するため、商船大学に各種シミュレーターをはじめとした教育資機材の供与、また機材の受け皿である商船大学の体制整備のためのコンサルティング・サービスを実施するもの。

評価結果

本事業により、ジャカルタ商船大学他3大学は国際レベルの教育を実施できる教育資機材を獲得した。これらの資機材は十分に活用されており、なかでも本事業が供与した各種シミュレーターは大きな教育効果を発揮している。ほとんどの資機材がSTCW条約に準拠したカリキュラムに沿って十分に活用されていること、この10年間で卒業生の質が大幅に向上したと考えられること、外航船で働くインドネシア人職員が飛躍的に増加していること等から、所期の目的であった「STCW条約に規定された国際レベルの教育水準」は概ね達成されたと考えられる。

国家予算からの維持管理予算は限られているが、JICAから派遣された専門家の支援等により、資機材の多くは比較的良好に維持されてきている。